

小倉擬百人一首



澤辺の吟を學ぶ文箱の恨の朱を奪ひ利口の
 卯家を覆と大臣を除く秘蔵の文章花柳
 流し遣水の心も此婦夫声高擡の時
 身我身の盛月と啼と日される
 柳下序種員筆記



妻さほき

高橋弥十郎

高橋を画

彫工房次郎





xrite ColorChecker® Color Rendition Chart